

登録される文化財の概要

- ① 旧案野酒場店舗兼主屋、② 旧案野酒場座敷、
③ 旧案野酒場酒造場、④ 旧案野酒場門及び塀

1 文化財の所在地

山口県山口市徳地島地字下土井ノ内

2 所有者

個人

3 年代・構造

店舗兼主屋：昭和30年頃

木造2階建、瓦葺、建築面積165㎡

座敷：明治前期／明治後期増築／昭和5年頃改修

木造2階建、瓦葺、建築面積52㎡

酒造場：明治前期／昭和5年頃増築

木造平屋一部2階建、瓦葺、建築面積457㎡

門及び塀：明治前期／昭和30年頃改修

門 木造、瓦葺、間口1.6m

塀 木造、瓦葺、総延長9.9m

4 概要

旧案野酒場は、山間を流れる島地川西岸に位置する旧酒造業の屋敷。当地では、嘉永年間から紙間屋が続いていたが、手漉き和紙の衰退に伴い、昭和5年から平成10年まで、合名会社案野酒場により、家屋の一部を再利用し、酒造場が営まれた。

敷地内には、店舗兼主屋、座敷、酒造場、門及び塀等が残されており、昭和時代の島地地域の様子を今に伝えるものとして、大変貴重である。

○ 店舗兼主屋は通りに西面して建つ2階建ての建ちの高い外観で、一階北に通路を通し、南に土間と和室、南西に洋室を配す。土間に酒の栞売用カウンターなど残し、昭和戦後の酒場の賑わいを伝える。

○ 主屋の南東に位置し、前庭を配する離座敷。1階は続き間の座敷で、西室は床を構えた座敷、東室は次の間で神棚を備え、天井板を矢筈状に張る。2階外壁を大壁とし、土蔵造風の重厚な外観が特徴的。

○ 酒造場は主屋の東に位置し、酒の仕込など行う作業場。かつては1階の西側を仕込場、麴室、東側を搾り場や瓶洗場などに使用していた。桁行長大な酒造場で、酒づくりの歴史を伝える。

○ 主屋の南に位置する門は通りに西面する腕木門で、両開きの板扉を建て、塀とともに旧家の屋敷構えを整える。



店舗兼主屋（外観）



店舗兼主屋（内部）



座敷（外観）



座敷（内部・天井）



酒造場（外観）



酒造場（内部）



門及び塀（外観）

登録される文化財の概要

⑤旧小川村役場庁舎

1 文化財の所在地

山口県萩市大字中小川字三明中

2 所有者

一般社団法人維新の駅長州旧小川村歴史文化保存協会

3 年代・構造

昭和7年／平成7年改修

木造2階一部平屋建、人工スレート葺、建築面積175 m²

4 概要

旧小川村役場庁舎は、萩市田万川地域の小川地区、集落北側の高台に建つ旧役場庁舎。昭和7年に明治時代の役場庁舎の老朽化に伴い、旧小川村が新築し、昭和53年以降は地元農業協同組合の事務所として、平成28年まで使用された。

木造二階建寄棟造りの東西棟で、正面に腰折軒破風をみせ、玄関ポーチを付す。内部は1階に執務室や村長室、2階に議場を配置する。1・2階通しの柱形と縦長窓を配し、隅上部に三段の水平帯を廻らすなどセセッション風の意匠を施す。

地方でのセセッション様式の普及と近代建築への移行期を示すものとして、大変貴重である。



外観



内部（2階議場）